

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	49	施設内での行事やレクリエーションは毎日行っているが外出などの外部に出て行くことが年々少なくなっている。	近隣や、希望に添った外出や季節毎の外出行事が出来るようにする。	毎月の行事計画の中に事前に取り入れた上で作成する。また、買物の際に利用者を一緒にお連れし、外気に触れる機会をもつ。遠出だけではなく近隣へ少し出る等と言う時間を設ける。	3 か月	
2	10	家族との接点が少なく、家族と一緒に利用者一人ひとりを支えていく為の話し合いや交流が少ない。	家族同士の交流の機会や、お互いが利用者の事を支えるという点で気兼ねなく相談がし合える関係作りの構築。	夏祭りや、クリスマス会、餅つき等の全体行事への参加の案内を行い参加して頂く。また、ケアプラン作成時には家族の意見も反映できるように相談を持ちかけ、希望や要望の聞き取りを行う。	12 か月	
3	2	施設内での催し物に頼りがちで地域に参加したり、地域との繋がりが薄い。	地域の行事に参加し、また、地域の方が入り易い施設作りを行う。	運営推進会議にて地域の催し物や行事があるか確認をする。また、逆にLOHAS:KOTIの中庭で園遊会等の行事等を検討し地域の方に見に来て頂くなどの行事を検討する。	6 か月	
4	23	利用者の思いや希望に添えるような対応や声掛けをしているが、聞き取りをした事に対して実行が不十分である。	一人ひとりの思いや意見を聞き取り、日々充実した生活を送って頂けるように努める	日々のコミュニケーションを大事に、利用者の意見が反映できるように情報の共有を行う。また、一人一人と少しの時間でも会話する機会を増やす。	6 か月	
5					か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)
1	サービス評価の事前準備	○ 運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		○ 利用者へサービス評価について説明した
		○ 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		○ 運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		○ その他()
2	自己評価の実施	○ 自己評価を職員全員が実施した
		○ 前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		○ 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		○ 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		○ その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	○ 普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		○ 評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		○ 対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		○ その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	○ 運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		○ 利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		○ 評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		○ 運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		○ その他()
5	サービス評価の活用	○ 職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		○ 「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		○ 「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		○ 「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		○ その他()